

製品名: FOXP3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21524**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:47kD;Observed MW:47kD

抗原情報

遺伝子名	FOXP3
別名	FOXP3;IPEX;JM2;Forkhead box protein P3;Scurfin
遺伝子 ID	50943.0
SwissProt ID	Q9BZS1
免疫原	ヒト FOXP3 の組み換えタンパク質

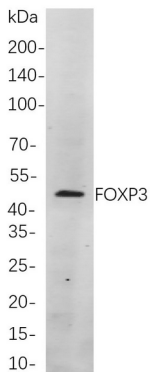
背景

細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、フォークヘッド/ウィングドヘリックスファミリーの転写制御因子である。この遺伝子の欠陥は、免疫不全性多内分泌症、腸症、X連鎖症候群 (IPEX)、またはX連鎖自己免疫不全症候群 (X連鎖

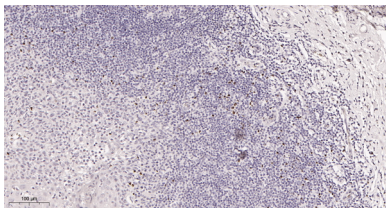
自己免疫不全症候群)の原因となる。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。
[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

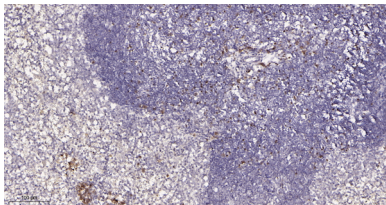
画像データ



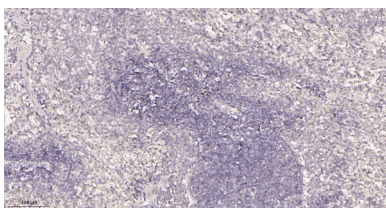
MCF7細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (FOXP3 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。1、FOXP3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋マウス脾臓組織の免疫組織化学分析。1、FOXP3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学分析。1、FOXP3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。